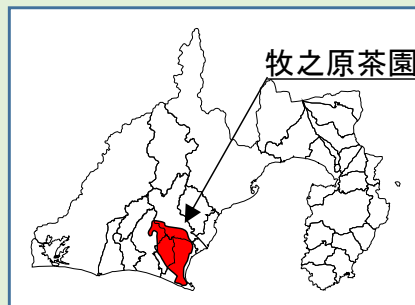


現地相談員による農業者、関係者との調整
～基盤整備を契機とした茶園の集約～

静岡県農業振興公社
(牧之原茶園)

認定農業者等数 (現状:R3年)	501 経営体	農地面積	5,096 ha	主な農畜産物	茶
---------------------	---------	------	----------	--------	---

地域の特色・課題	取組概要
島田市を含む牧之原地域の茶園の多くは、狭小、不整形、段差、接道がない。 ↓ 担い手への集約には基盤整備が必要 しかし、農家負担が課題 ↓ 負担ゼロの機構関連基盤整備を選定 ・中間管理事業(貸借) ・基盤整備事業(区画整理、換地等) ↓ <u>担い手、地主の合意を得ることが課題</u>	【現在、推進中の地区】 ・発起人7名が「基盤整備勉強会」を立上げ ・関係行政機関を参集し勉強会を開催 ～農業者以外の方も参加～ ・「基盤整備推進委員会」発足(20名) ～地区の総合力を引き出す～ ・地権者全体説明会(複数回) ・地権者全員の事業同意確認 ・「基盤整備組合」設立総会 ・中間管理事業 貸借調印式 ・事業着手(R6見込み)



島田市、牧之原市、掛川市、
御前崎市、菊川市、の5市



関係機関との協力体制	今後の予定				
①目指すところの共有 ②共有の輪を拡大 ③<u>反対者の課題を取除いて説得</u> ↓ (例) ・未収益期間 → 代替え茶園の確保 ・未相続農地 → 行政と連携し整理 ・関係者間の相克 → 時間(回数)を掛けて説得 合意	推進中の地区 事業効果(見込み) <table> <tr> <td>担い手経営面積</td> <td>0.5ha → 11.6ha</td> </tr> <tr> <td>担い手集約化率</td> <td>0.0% → 93.5%</td> </tr> </table> ～すでに完了した基盤整備地区の波及効果を期待～ この手法を茶園地域で横展開 ①地域計画の協議の中で、基盤整備をテーマの一つにする。 ②基盤整備を目標地図に反映し、合意までの期間短縮、円滑な事業実施を目指す。	担い手経営面積	0.5ha → 11.6ha	担い手集約化率	0.0% → 93.5%
担い手経営面積	0.5ha → 11.6ha				
担い手集約化率	0.0% → 93.5%				